

いこいの村

小西雨子

題字 梅の木寮（ユニット型）

2010年（平成22年）8月20日発行

第339号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害者センター

所長 柴田 浩志

編集

いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

ひのきの家 夏まつりへようこそ!

7月24日



「風船どうぞ」ゆかた姿の職員が華をそえます

「ようけつれたか？」
多くのご家族でにぎわいました

誕生月の方のお祝いもしました
「99歳、まだまだ花盛り」



多くのご家族にお越しいただき、あちこちで笑顔の輪がひろがりました。



屋台形式の食事に、いつもより食が進み、「たこ焼きをもっと食べたい」「そうめんがおいしいわ」と、みなさんおかわりをされます。

景品つきの魚つりゲームでは、ご家族の方も夢中になり「童心に返りました」との言葉と笑顔に、生活援助員も嬉しくなりました。

梅の木寮で生活されている皆様とご家族とのふれあいはもちろん、ご家族同士のつながりもできればと考えての企画。今後もこのような機会を大切にしていきたいと思えます。

（梅の木寮ユニット型）

大西洋美

「これが最後かもしれないな」

梅の木寮(ユニット型)空

の家に、奥さん(静枝さん)

と一緒に生活されておられる

鎌部保治さんは、七月三十日

で満九十歳になられました。



空の家での保治さん・静枝さん

「いこいが行きたい所はないですか」と尋ねると、「舞鶴の五老ヶ岳へ行きたいんや。若い頃海軍工廠(うしき)に勤めとってな、そのときによく五老ヶ岳へ行ったんじゃ」と答えられました。「ご夫婦揃っていかがかと思ひ、静枝さんに相談し

たところあまり気乗りでない様子でした。

「迷惑かけるん

悪いで…」



何度となく相談をしていくうちに、静枝さんの思いが分かってきました。

奥さんとして、保治さんの行きたい所へ一緒に行きたい気持ちはあるものの、保治さんの身体が以前に比べて思うように動かないので、迷惑をかけるのではないかと心配されていたのです。

静枝さんの気持ちが少しでも軽くなればと、「長男である俊夫さんも忙しい中、時間を調整して同行を承諾してくださいました。当日は静枝さんに俊夫さん、職員一名が同

行すること伝えると「そつ

やな、お父さんもこれが最後

かもしれない」と一言つぶや

かれました。

「アルコールも」



五老ヶ岳へ行く前に食事をしました。テーブルいっぱい並べられた料理を前に「よけの(よけ)そつやなあ」と、笑顔で食べておられます。食事が進む中、保治さんが「無理なことは言えんのやけど、アルコールがあったらな」と言われました。テーブルにお酒が運ばれてきたときの、嬉しそうなお酒の表情が忘れられません。



保治さん念願のお酒で乾杯

念願の

「五老ヶ岳」



目的地である五老ヶ岳へ到着しました。残念ながら、かすんでよく見えませんが、保治さんは「景色はかすんでみえへんけど、風吹いとんがよ分かる」と言われました。その言葉に、同行させていただいた職員は嬉しさを覚えませんでした。そして、懐かしい思い出の場所へ、もう一度来られたことをとても喜んでおられました。

ご家族の思い



俊夫さんは、「近所にも両親と同じ歳格好の方がおられるが、いこいの村でお世話になるんで安心です。親父は身体の筋力が弱くなってきているけど、元気であってほしい」と、お話されます。

静枝さんも「最後かもしれないな」と思いはあるものの、「人の命はどうなるかわからんでな、できればお父さんを見送ってやりたい。夜寝っても、目が覚めるとお父さん、ちゃんと寝てるやろか…って気になるんや」とお話されました。

蒸し暑い一日でしたが、鎌部さんご家族の様子から楽しい笑いとお互いを思いやる気持ちを感じ、爽やかな気持ちになれました。

「こちらから鎌部さんご家族の思い出作りに少しでもお手伝いできれば幸いです。



念願の五老ヶ岳にて

(梅の木寮ユニット型

出口 由美子)

排せつの豆知識 オムツの使い方・選び方



いざオムツを買おうとお店に行ったとき、種類の多さに迷われることはありませんか？

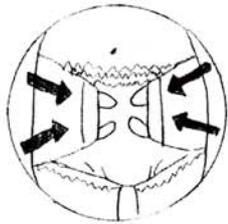
本人に適したものを正しく選んで、効果的に使うのは案外むずかしいようです。

ある日、こんな相談を受けました。

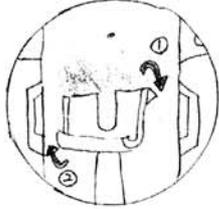
「うちは主人に紙パンツをはかせて寝させるんですけど毎晩、布団まで濡らすんです。しかたなく、夜中に必ず起きますのですが眠たいから怒ってわめいて大騒ぎ。私も腰やひざが痛いし、お互いにヘトヘトになるよ。」

「これは、普段仲の良いご夫婦も疲れがたまり、険悪なムードが続きます。」

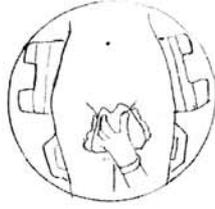
それなら『オシッコ』は出るもの『とわりきって、朝ま



パッドを左側から上向きに密着させるように巻き次に右側を巻きテープで固定します



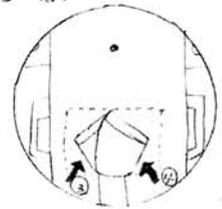
男性の場合はパッドの耳の部分を外側に折り返してペニスの下に差し込み下側を内側に折り返します



女性の場合はパッドを尿道口に当る部分は山型に密着させます

《使い方のポイント》

で寝ても大丈夫なように防水シートやオムツや、パッドの当て方を見直されました。それから漏れも改善され穏やかな笑顔が戻りました。



紙おむつのテープを矢印の方向にX状にとめるのがコツです。ギャザーは指で外側に出すのも忘れずに！

- * 自分でトイレに行けるか
 - * 自力で座っていられるか
 - * 夜間オムツ交換をするか
 - * 尿量は多いか
 - * 等で種類も変わります。
- いこいの村内の在宅介護支援センターでは、オムツやパッドを各種取り揃えています。ご相談のうえ、状況に合わせてタイプを見つけましょう。
- なお、綾部市の介護用品支給事業のチケットも取り扱っています。くわしくは在宅介護支援センターまでお問い合わせください。
- (高齢福祉部 介護支援係 東 やよい)



いこいの村
聴覚言語障害センター
所長 柴田 浩志

今年2月に就任された、山崎善也綾部市長が、さる7月9日いこいの村を訪問されました。

当日は、高田理事長を初め、地元選出の桑迫理事、川端評議員、永井評議員などの法人役員が、市長をお迎えしました。懇談会場の地域交流室で、認知症グループホームの完成模型をお見せしながら、いこいの村の概要についてご説明した後、約1時間にわたって施設見学をしていただきました。

利用者の皆さんには事前に市長さんが来られることをお知らせしていただきましたので、みなさん、朝からわくわくドキドキ。最初に市長をお迎えした梅の木寮ユニット型にお住まいの藤本寿美さん(101歳)は、三〇分前からお待ちになっておられました。また梅の木寮従来型テイルームで

は年輪の会役員で綾部市から入居されている若崎みつゑさん等、高齢聴覚障害者の皆さんが市長を大歓迎。

綾部東部デイサービスセンターでは、市長が、この日の利用者である山家地域の皆さんに、送迎方法、食事内容、利用回数などについて熱心に質問され、予定の時間があっという間に過ぎました。

最後に見学された栗の木寮第一作業棟では、あゆみ会代表の荒山拓也さんが、しめ縄作業について実物をお見せしながら一生懸命手話で説明されました。

その後、市長は同行した塩尻福祉保健部長と共に、補助金内示のあった認知症対応型グループホームの建設予定地を視察され、来春開所の期待を述べられました。

暑い夏が過ぎ、秋が深まる頃には、いよいよ着工です。



